

# 歴史と未来につながる 盛岡に暮らす心地よさ実感予算

本年度の予算が、市議会3月定例会で可決されましたので、概要をお知らせします。

【問】 財政課 ☎613-8362  
【広報 | D】 1026289

## 当初予算の概要

本年度は、市が目指すまちの将来像「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」の実現にむけ、右の5つの視点のもとで予算の編成を進め、3つの戦略プロジェクトに予算を重点配分するとともに、市民サービスの向上と充実を図るため、必要な経費の予算化に努めました。



### ≪ 予算編成 5つの視点 ≫

- 1 市制施行130周年を市を挙げて祝うとともに、盛岡の歴史を感じられるイベントを通じて盛岡の価値や魅力を市内外に発信すること
- 2 若い世代や子育て世代が安心して暮らすための施策を拡充すること
- 3 産業の振興や働く場所の確保に努め、盛岡広域8市町の地方創生につなげること
- 4 盛岡シティマラソンやホストタウンなどを通じて、スポーツによる盛岡広域の活性化や、移住・定住・交流人口対策の推進により、魅力あふれるまちづくりに取り組むこと
- 5 多くの市民が利用する施設について、環境改善を図り、利便性の向上に結び付けること

## 予算総額

一般会計 **1115億3000万円**  
特別会計 **563億4500万円**  
(11会計)

一般会計は、子ども・子育て関連事業や障がい者の自立支援事業など、社会保障関係経費が昨年度に引き続き増加したほか、プレミアム付商品券の対応に伴う経費が新たに増えたことにより、予算総額が前年度比8億9000万円(0.8%)増の1115億3000万円となりました。10年連続で1000億円を超え、過去最大の予算規模です。

特別会計は、新産業等用地に工場を建てるための土地や下水道の整備事業を円滑に進めるため、特別会計を新たに設置し、11会計の合計で、前年度比3億4361万円(0.6%)増の563億4500万円となりました。

## 歳入

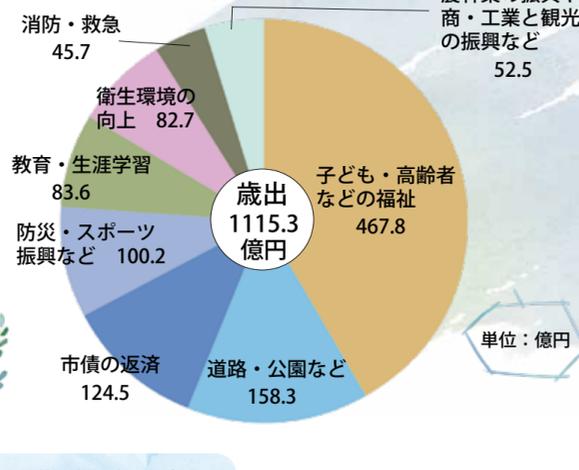
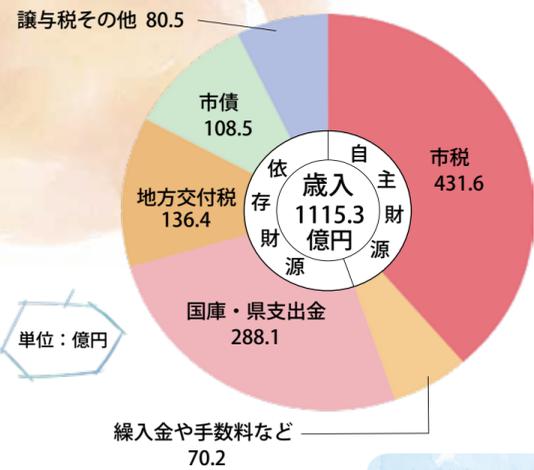
市税は、緩やかな景気回復基調を反映した法人市民税の増収のほか、固定資産税やたばこ税の増収を見込み、前年度と比較し、7億2800万円(1.7%)増加しました。また、国庫・県支出金は、教育・保育給付費負担金の増額など

により、前年度と比較し、14億3000万円(5.2%)増加しました。また、地方交付税は、推計で前年度と比較し1億3700万円(1.0%)増加する見込みです。その結果、自主財源と依存財源の比率は前年度とほぼ変わりません。

## 歳出

支出項目として最も多いのは、子どもや高齢者などの福祉に要する経費です。認定こども園などへの運営費給付や障がい者への介護給付費などの増加により、前年度と比較し、12億8300万円(2.8%)増の467億7900万円です。次に多い支出項目は、道路や公園の整備な

どに要する経費で、前年度比3億3600万円(2.1%)減の158億2600万円となりました。また、学校・生涯学習に要する経費では、中央公民館複合化・大規模改修や大新小学校校長舎長寿命化改修などにより、前年度と比較し、4億2300万円(5.3%)増の83億5800万円となりました。



本年度末の一般会計における市債の残高は、歳入予算総額に占める市債の割合や、新たに発行する市債の抑制に努めたことから、前年度比6億5900万円減の1342億3500万円となる見込みで、本市の未来を担う世代の負担の軽減を図りました。市の貯金である基金についても、財政調整基金からの繰り入れ(取り崩し)を12億1000万円(前年度比4億6500万円の減)に抑え、地震や大雨災害などの不測の事態にも対応できるようにしています。

## 総合計画の4つの基本目標

目指す将来像の実現のため、まちづくりの理念や方向性を示す4つの基本目標を設定しています。

### 1 人がいきいきと暮らすまちづくり

力を入れる事業	
▶プレミアム付商品券	3億8680万円
▶病児や病後児保育の充実	8176万円
▶介護職員の奨学金返還を支援	234万円

### 2 盛岡の魅力があふれるまちづくり

力を入れる事業	
▶移住・定住・交流人口対策	2041万円
▶盛岡城跡の保存に向けた整備	663万円
▶盛岡ブランドの確立	363万円

### 3 人を育み未来につなぐまちづくり

力を入れる事業	
▶若者の就業支援	1719万円
▶教職員の働き方改革の推進	168万円



### 4 人が集い活力を生むまちづくり

力を入れる事業	
▶境田川原踏切の交通安全施設などの整備	1億1259万円
▶まちなかおでかけバスの推進	5750万円
▶動物公園の整備	5490万円
▶観光客誘致宣伝	2768万円
▶森林経営管理の推進	2412万円

## 公共施設保有最適化・長寿命化計画等

保有施設の「最適化」と「長寿命化」の2つを柱に、本当に必要な施設を取捨選択し、持続可能な市民サービスの提供を目指します。

- 主な事業
  - ▶中央公民館の大規模改修※ 9億7238万円
  - ▶サンライフ盛岡の大規模改修※ 2億9689万円
  - ▶公共施設トイレの洋式化 3億61万円

※建物を80年間使い続けることを目指し、費用を抑えながら施設を長持ちさせるための工事のことです。



市総合計画の目指す将来像の実現へ向け、3年を目標に優先して取り組む「戦略プロジェクト」に、重点的に予算を分けました。

## 重点的に取り組む施策



「食と農」・「ものづくり」  
応援プロジェクト 7億2679万円

盛岡の魅力ある農畜産物を活用し、関連する食品産業・ものづくり産業を支援し、価値を高めます。また、戦略的な企業誘致・企業支援を進めます。

- 主な事業
  - ▶新規
    - ▶渋民バイパス「道の駅」の基本設計など 5499万円
    - ▶成長分野と位置付けている医療福祉機器製造業などの支援 2236万円
    - ▶猪去地域に地域おこし協力隊を配置 800万円
  - ▶拡充
    - ▶道明地区の新産業等用地を整備 4億9581万円
  - ▶継続
    - ▶盛岡産農畜産物の魅力を発信 2562万円



みんなが支える子ども・子育て  
安心プロジェクト 24億7453万円

子育て世代が希望を持って子どもを産み、育てることができるよう、さまざまな保育ニーズに応え、子育て環境の充実を図ります。

- 主な事業
  - ▶新規
    - ▶保育園などへのエアコン設置 7599万円
    - ▶新生児の聴覚検査助成 869万円
    - ▶(仮称)見前第二児童センターの基本設計など 619万円
    - ▶家事援助サービスの提供 228万円
  - ▶拡充
    - ▶私立保育所などの建設・改修に助成 8億2831万円
    - ▶乳幼児の保険医療費を全額給付 4億6844万円
    - ▶小学生の保険医療費を一部給付 2億2384万円
    - ▶中学生以下のインフルエンザ予防接種補助 7187万円
    - ▶保育士確保対策 7060万円
    - ▶義務教育に必要な経費の援助 2770万円

- ▶継続
  - ▶盛岡産農畜産物の魅力を発信 2562万円



2020あつまる・つながるまち  
プロジェクト 2億440万円

国内外の旅行者から選ばれる観光地となるため、歴史や自然などの観光資源の魅力を高め、プロモーション活動を展開します。また、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックなどを盛り上げ、スポーツを通じた交流人口を増やします。

- 主な事業
  - ▶新規
    - ▶いわて盛岡シティマラソンの開催 3000万円
    - ▶木伏緑地ににぎわい空間を整備 2913万円
    - ▶盛岡国際俳句大会の開催 600万円
  - ▶継続
    - ▶ホストタウンの事前キャンプ受け入れなどスポーツツーリズムの取り組み 3955万円
    - ▶姉妹都市などの国際交流 1227万円
    - ▶いしがきミュージックフェスティバルの開催支援 400万円
    - ▶東北六市と連携した観光客の誘致・宣伝 197万円

